

海外生活 だより

ソウル事務所

韓国プロ野球観戦から 垣間見えるKOREA

(財)自治体国際化協会ソウル事務所所長補佐
上田 将章 (鳥取県派遣)

韓国では、日本と同様、プロ野球が多くの国民に親しまれています。私もしばしば同僚や韓国で知り合った方々と観戦に行きますが、このプロ野球観戦を通じて韓国の今を知ることができます。

空前の盛り上がりを見せる韓国プロ野球

2012年シーズンは、全8球団の1リーグ制、レギュラーシーズン133試合と短期決戦のポストシーズンで熱い戦いが繰り広げられました。



超満員の球場 (蚕室スタジアム)

最終的に、昨年まで日本でプレーしていた「国民的打者」イ・スンヨプが韓国シリーズMVPを獲得する活躍によりサムソンライオンズが見事優勝を果たしました。総観客動員数は700万人を突破し過去最高を記録しています。

選手は、全国にわずか50校程度しかない高校野球部に入部後、そこからさらに熾烈な競争を勝ち抜いてプロに飛び込んできたエリートたちです。

球団は、首都ソウル市に3つある他、釜山市や大邱市等いずれも韓国を代表する都市を本拠地としていま



白熱したレベルの高い試合

す。大半は、韓国経済で絶大な影響力を持つ財閥が保有し運営していますが、2013年シーズンからはIT企業が保有する球団 (100万人都市昌原市を本拠地とするNCダイノス) が新規参入し、全9球団に拡大して4月に新シーズンの開幕を迎えることとなります。

観戦の前に—必需品と経費—

(1) チケット

週末の人気カードは、韓国で最大級の収容力 (27,000

人) を誇る蚕室スタジアム (ソウル市) ですら超満員となり、当日に球場へ行ってもチケットが売り切れている場合が少なくありません。そのため、事前にインターパーク、チケットリンク等のチケット購入サイトで予約・購入する人が多いです。予約後は、予約番号を球場の窓口や機械に照会するだけで、簡単に発券ができます。入場料は何度でも通いたくなる価格に設定されており、韓国人にとって野球は、身近で親しみやすい娯楽と言えます。

なお、このようなチケット購入サイトでは、他のスポーツはもちろんのこと、コンサートや演劇、映画、食事割引クーポン等、多岐にわたるチケットも同様に購入することができます。

【参考】韓国における娯楽の入場料比較 (100W ≒ 約7円)

【韓国三大プロスポーツ (休日一般席の場合)】

- 野球：内野席15,000W (1,050円) 外野席8,000W (560円)
- サッカー：14,000W (980円)
- バスケット：8,000W (560円) ※チームにより異なる。

【その他娯楽】

- 「国民の妹」歌手「IU」コンサート：99,000W (6,930円)
- 演劇NANTA (A席)：40,000W (2,800円)
- 映画 (休日の場合)：9,000W (630円)

(2) おつまみ

観戦中に欠かせないのが、ビール (韓国は満19歳から)、そしてチキンです。球場前では、チキンセット



スルメ・焼酎・キンパブ

が入ったナイロン袋を両手に「チキン！1万ウォン！」と連呼する販売員が多数登場し、客もそれを見るみる買って球場に入っていくのがお馴染みの光景です。ちなみに韓国では、酒のつまみにチキンが絶大な人気を誇り、街のいたるところにチキン屋があります。もちろん、その店で流れているテレビ番組は当然、野球です。

次にコーヒーです。これまた韓国では、コーヒー

が非常によく飲まれ、(2011年1人当たり年間消費量338杯:韓国関税庁)、チキン屋以上に街のいたるところにコーヒーショップが点在しています。その波は球場にも押し寄せています。

その他、キンパブ(韓国の海苔巻き)やトッポギ(餅を使った韓国料理)、焼酎、スルメも定番です。

【参考】定番おつまみ一覧表(100W≒約7円) ※おおよその価格

【定番おつまみ】	
○チキンセット:10,000W(700円)	○ビール:2,000W(140円)
○コーヒー:4,000W(280円)	○キンパブ:2,000W(140円)
○トッポギ:3,000W(210円)	○焼酎:1,500W(105円)
○コーラ500ml:1,500W(105円)	○スルメ:5,000W(350円)
○スナック菓子:1,500W(105円)	○オデン:1,000W(70円)

(3) 応援グッズ・交通費

試合開始前の地下鉄やバスは、応援するチームのユニフォーム(約50,000W)を着用し、バルーンスティック(約2,000W)を持って球場へ向かう人で満員となります。交通料金は日本に比べて安いです。

【参考】交通経費一覧表(100W≒約7円) ※おおよその数字

場所と距離	交通手段	料金(片道)	乗車時間	備考(日本との違い等)
蚕室スタジアム(ソウル市) ※自宅から球場まで20km	地下鉄	1,250W(88円)	45分	高齢者等の優先席は、超満員でも該当しない人は座らない。
	バス	1,050W(74円)	1時間	手すりにつかまらなると転倒するぐらい運転が荒い。
	タクシー	15,000W(1,050円)	20分	日本人だとわかれば日本語で話しかけてくる人も多い。
社稷野球場(釜山市) ※ソウル市から釜山市まで450km	高速バス	20,900W(1,463円)	4時間30分	本数が多く、網の目のように都市同士が連結している。
	KTX(高速鉄道)	52,900W(3,703円)	2時間30分	改札口が存在しない。
	飛行機	78,000W(5,460円)	55分	韓国の面積は日本の約26%であり、国内便は少ない。

観客が主役になれるスタジアム

プレイボールは、平日18:30、休日17:00で統一されています。定刻になると、先に守備に回るホームの選手たちが元気よく飛び出し、球場は大歓声に包まれます。韓国国歌の斉唱で盛り上がり絶頂の中試合が始まります。

(1) 応援風景

内野席常設のステージに上がった迫力が違う応援団長の音頭に、最新のK-POPを踊る4人程度のチアリーダーのダンスも合わせ、球場は常にお祭り状態です。日本に比べ若い女性やカップルが多い印象を受け、ある球場では外野席で



熱狂的な観客

バーベキューをしながら観戦もできます。また車椅子席や託児スペースもあり、誰でも楽しめます。

応援歌は、大音量BGM付きの替え歌がメインであり、私が好きな「斗山ベアーズ」の4番打者が打席に立った際は、大迫力の「メリーさんの羊」を聞くことができます。ユーチューブ再生回数が6億回(11月1日現在)を超えた韓国人歌手「PSY」の大ヒット曲「江南スタイル」が、ある選手^{サイ}の登場曲で流れた際は、球場全体がノレバン(カラオケ)に変わります。

(2) さまざまなイベント

回を追うごとに興奮の熱も少しずつ冷めてきそうですが、韓国では攻守交代の合間に沢山のイベントが用意されており、観客を全く飽きさせません。

例えば、どの球場でも、他のスポーツにおいても定番なのが「キスタイム」です。球場のバックスクリーンに映し出された入場者公認のカップルは、キスをしなければなりません。これは必ずであり、イ・ミョンバク大統領ですら逃れることができなかつたほどです。まれに男同士が映し出される時は球場全体が苦笑の嵐に包まれます。



Kiss Time

他に、画面に映った人がダンスを踊れば景品贈呈というイベントでは、開始のアナウンスと同時に球場の大半の人が踊り始めます。そしてカメラマンにより見事選ばれ映し出された人は、クラブで鍛え上げたと思えない素晴らしい踊りを観客に見せつけ、選手から主役の座を奪います。

さらに、公開プロポーズが行われる日もあり、球場でリアル韓流ドラマも見ることができます。

おわりに

韓国プロ野球が空前の盛り上がりを見せているのは、このように球場が誰でも行きたくなる空間になっていることも一つの理由だと思います。

来シーズン開幕前の2013年3月にはWBC(野球の国別世界大会)が開催されますが、この「WBC効果」で、さらなる盛り上がりを見せることは間違いありません。韓国の熱気を肌で体感したい方は、一度球場に足を運び、韓国人のみなさんと一緒になって歌って踊ってみてはいかがでしょうか。